

21th
丸山眞男文庫
記念講演会

要申込・入場無料

世界現代史への視座

丸山眞男が生きた時代を中心に

木畑 洋一 氏

2021. **12. 11. Sat.**

15:00～16:30

東京女子大学24号館2階

24202教室

(東京大学・成城大学名誉教授)

東京女子大学丸山眞男記念比較思想研究センター

講師より

丸山眞男は、第一次世界大戦が勃発した1914年に誕生し、冷戦が終わりを迎えた数年後の1996年に逝去した。丸山が生きたこの時代は、イギリスの歴史家E.J.ホブズボームが、「短い20世紀」と呼んだ時代とほぼ重なりあう。私は、第一次世界大戦で世紀を区切るこの見方をヨーロッパ中心主義的であるとして、世界が支配圏と被支配圏に大きく分かれる状況に着目しつつ、1870年代(ヨーロッパ列強による植民地支配が広がり始める時期)から1990年代初め(被支配圏の政治的な自立、独立がひとまず一段落する時期)までを「長い20世紀」として捉える世界史像を提示してみたことがある。本講演では、この「長い20世紀」像に立脚しつつ、丸山の生きた時代の問題を中心に、世界現代史の捉え方を論じてみたい。その際、より広く世界史における近代というものをどう考えるかという点や、コロナ禍で揺れる現在の状況を歴史的にどう位置づけるかという点にも留意したい。またそれらとの関連で、来年から高校で始まる世界史と日本史を統合した「歴史総合」という新科目での歴史像の問題点にも触れる予定である。

講師プロフィール

1946年生まれ。1970年東京大学教養学部卒業。東京大学・成城大学名誉教授。イギリス帝国史、国際関係史、国際関係論専攻。著書に『帝国のたそがれ：冷戦下のイギリスとアジア』(東京大学出版会、1996年、大平正芳記念賞受賞)、『第二次世界大戦：現代世界への転換点』(吉川弘文館、2001年)、『イギリス帝国と帝国主義：比較と関係の視座』(有志舎、2008年)、『二〇世紀の歴史』(岩波新書、2014年)など。

お申込み方法 表面記載の連絡先にメールまたは郵便で、お名前・ご住所・お電話番号を明記の上、お申し込みください(先着100名)。 **締め切り 12月7日(火) 必着**

ご参加に際してのお願い

- ・ご来場前に検温を行ってください。発熱(37.5℃以上)または咳などの風邪症状が見られる場合にはご参加いただけません。また、ご来場中に少しでも体調に不安を感じた場合は直ちにご帰宅ください。
- ・当日は正門よりキャンパスに入構してください。入構の際にお名前を確認いたします。
- ・入構後は会場までの範囲以外には立ち入らないようにしてください。
- ・構内・会場内ではマスクの着用、身体的距離(1~2m)の確保、消毒・手洗いの励行をお願い申し上げます。喫食はご遠慮ください。水分補給は差し支えございません。
- ・会場内は換気を行いますので、室温が低くなる可能性があります。

丸山眞男文庫



丸山自筆の講義ノート
(丸山文庫所蔵)

20世紀の日本が生んだ世界的な政治学者・思想家、丸山眞男(1914-1996)の思索の跡を伝える約2万冊の蔵書と約3万頁の草稿類が、1998年に東京女子大学に寄贈されました。東京女子大学は、国際的な丸山眞男研究の拠点となり、貴重な資料がひろく活用されることを願って丸山眞男文庫を設立し、調査と整理を進めるとともに講演会、公開研究会、公開授業等を開催しています。

2012年4月より2017年3月まで、研究プロジェクト「20世紀日本における知識人と教養 —丸山眞男文庫デジタルアーカイブの構築と活用—」を実施。2015年には、丸山宅での蔵書状況をウェブ上に再現した「丸山眞男文庫バーチャル書庫」(<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/shoko>)、丸山のノート・草稿類のウェブ閲覧を可能にした「丸山眞男文庫草稿類デジタルアーカイブ」(<http://maruyamabunko.twcu.ac.jp/archives>)を公開しました。

ACCESS

- JR西荻窪駅北口より徒歩約12分
- 西荻窪駅北口または吉祥寺駅行きバス吉祥寺駅北口より西荻窪駅行バス「東京女子大前」下車